

(1時間：45分)

授 業 科 目	必須／選択の別	学年	標準時間数
HTML演習	必須	2	30
Linux	〃	2	30
Webアプリケーション構築	〃	2	100
セキュリティ応用	〃	2	30
ビジネスマナーと文書技法	〃	2	30
Java演習	〃	2	100
ネットワーク応用1	〃	2	30
データベース応用	〃	2	30
Unity応用	〃	2	100
卒業研究	〃	2	240
小計			720
総合情報処理1－2 (レベル2)	必須選択 ※1	2	60
総合情報処理1－2 (レベル3)	〃	2	60
総合情報処理1－2 (レベル4)	〃	2	60
自主課題研究1－2	〃	2	60
総合情報処理2 (レベル2)	〃	2	150
総合情報処理2 (レベル3)	〃	2	150
総合情報処理2 (レベル4)	〃	2	150
自主課題研究2	〃	2	150
小計			210
必須科目計			930

※1 必須選択は、各太枠内から1科目選択する。

ゲームWeb科2年 授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者 による授業	履修 年次	単位 時間数	時間数 (90分)	科目概要
A－2 042 1	HTML演習	○	2年	30	15	インターネットを通じて日常的に利用しているWebページのしくみを学ぶ。また、様々な利用者がいることを想定し、使いやすいWebページとはどういうものかを考察する。その後、作成を通じて理解する。 なお、本科目はIT企業でWebサイト構築や運営に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
A－5 043 0	Linux	－	該当年	30	15	サーバOSとして高いシェア率のLinuxについて、講義・実習問題を通して知識と基本操作を習得する。
A－5 027 1	Webアプリケーション構築	○	卒業年	100	50	Webアプリケーション開発を行ううえで必要となるJavaServletやJSPなどのWeb開発技術について、座学講義と演習課題を通じて、動作原理、基本文法～動的なアプリケーションの開発方法を習得する。 なお、本科目はIT企業でWebアプリケーション開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
A－5 028 1	セキュリティ応用	○	該当年	30	15	情報セキュリティ管理や情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) など情報セキュリティの実践的な知識や技術について、講義と過去問題を通して身に付ける。 なお、本科目はIT企業でネットワークとセキュリティにかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
A－5 029 0	ビジネスマナーと文書技法	○	該当年	30	15	ビジネスマナーとeメールを含むビジネス文書について、講義とさまざまなケーススタディにおける接客対応の実例や確認問題を通して習得する。 なお、本科目はコンテンツ開発企業でコンテンツ制作とプロデュースに携わった実務経験を持つ講師が、その知識と経験を活かして授業を行う。
A－2 084 1	Java演習	－	2年	100	50	企業のシステム開発やアプリ開発でニーズが高いJavaについて、講義・机上演習・実習を通して基本文法からWebアプリケーションにおけるJavaプログラミングの適用方法までを習得する。
M－2 085 1	ネットワーク応用1	－	2年	30	15	ネットワーク構成の理論や設計方法について、講義を通して必要な知識と具体的手法を習得する。
M－2 086 1	データベース応用	－	2年	30	15	システム開発に欠かせない基盤技術となっているデータベースを操作するSQLについて、知識だけでなく実際に目的からSQLを構築できる能力を養う。
M－2 087 1	Unity応用	－	2年	100	50	Unity基礎で学習した内容を応用し、より完成度の高いゲームを制作するための技術を習得する。 複数人で協力しながらゲーム開発を行い、スケジュールに沿ってチーム作業に関する知識と技術を習得する。

ゲームWeb科2年 授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者 による授業	履修 年次	単位 時間数	時間数 (90分)	科目概要
A－5 017 1	卒業研究	－	卒業年	240	120	実施テーマは新年度初頭に各講師から提示され、受講学生は希望に応じてテーマを1つ選択する。各テーマを選択した学生は、学科で得られた専門知識を活用し、指導講師の指導のもとで研究活動を行う。
A－2 052 1	総合情報処理1－2(レベル2)	－	2年	60	30	総合情報処理1-1 レベル2の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
A－2 053 1	総合情報処理1－2(レベル3)	－	2年	60	30	総合情報処理1-1 レベル3の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
A－2 054 1	総合情報処理1－2(レベル4)	－	2年	60	30	総合情報処理1-1 レベル4の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。
A－2 055 1	自主課題研究1－2	－	2年	60	30	自主課題研究1-1の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
A－2 056 1	総合情報処理2(レベル2)	－	2年	150	75	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
A－2 057 1	総合情報処理2(レベル3)	－	2年	150	75	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
A－2 058 1	総合情報処理2(レベル4)	－	2年	150	75	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。
A－2 059 1	自主課題研究2	－	2年	150	75	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。

科目番号：A-20421

科 目 名				時間数 (90 分)				
HTML 演習				講 義	演 習	実 習	合 計	
					15		15	
科 目 概 要	インターネットを通じて日常的に利用している Web ページのしくみを学ぶ。また、様々な利用者がいることを想定し、使いやすい Web ページとはどういうものかを考察する。その後、作成を通じて理解する。 なお、本科目は IT 企業で Web サイト構築や運営に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。							
学 習 到 達 目 標	HTML, CSS, JavaScript の基本的な機能を理解し、デザインを意識した Web ページを作成できる。作成の際には専用エディタを使用し、効率的な Web ページ制作を行うことができる。							
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容			
	1	導入 ・ 環境構築 ・ 科目の目的		9	フォーム			
	2	HTML の仕組み		10				
	3	テキストの表示		11	入力チェックと JavaScript			
	4	リンクの指定		12				
	5	画像とリンク		13	CSS と JavaScript			
	6	セクションと CSS		14	CSS3			
	7	CSS の仕組み		15	まとめ			
	8	テーブルとレイアウト						
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社			
主教材		本当によくわかる HTML&CSS の教科書			S B クリエイティブ			
実 習 環 境	Visual Studio Code							
	Google Chrome							
目 標 資 格	資 格 名				実 施 団 体			
成 績 評 価 方 法	・ 課題提出 (100%)				<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可			

科目番号：A-50430

科 目 名			時間数(90分)			
L i n u x			講 義	演 習	実 習	合 計
					15	15
科 目 概 要	サーバOSとして高いシェア率のL i n u xについて、講義・実習問題を通して知識と基本操作を習得する。					
学 習 到 達 目 標	L i n u xの概念を理解するとともにコマンドの使い方を習得することで、実際のサーバを操作できるスキルを習得する。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	Linux の概要		13	総合実習	
	2	ユーザ管理		14		
	3	プロセス		15	科目試験	
	4	ファイルシステムとディレクトリの操作				
	5	パーミッション				
	6	シンボリックリンクとパス指定				
	7	エディタ (vi)				
	8	エディタ (jvim)				
	9	ネットワークとバックアップ関連コマンド				
	10	シェル				
	11	シェルの操作				
	12	シェルスクリプト				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	イラストでそこそこわかる Linux コマンド入力からネットワークのきほんのきまで		翔泳社		
実 習 環 境	Tera Term					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-50271

科 目 名			時間数(90 分)				
Web アプリケーション構築			講 義	演 習	実 習	合 計	
			10	40		50	
科 目 概 要			Web アプリケーション開発を行ううえで必要となる JavaServlet や JSP などの Web 開発技術について、座学講義と演習課題を通じて、動作原理、基本文法～動的なアプリケーションの開発方法を習得する。 なお、本科目は IT 企業で Web アプリケーション開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。				
学 習 到 達 目 標			Java Servlet と JSP および JavaBeans の基本文法やライブリを応用して、簡単な Web アプリケーションシステムのプログラミングができるようになる。				
	回	内 容	回	内 容			
	1	第Ⅰ部 Web のしくみを知ろう	16	第Ⅳ部 設計手法を身に付けよう			
	2	第Ⅱ部 開発の基礎を身に付けよう	17				
	3		18	JavaBeans 演習			
	4		JSP 演習			19	
	～	20		JDBC ドライバによる DB 操作			
	7	21					
		22		JDBC 演習			
	8	Java Servlet 演習	23				
	～		24	総合演習（ショッピングサイト構築） 基本設計・画面設計			
	11		28				
	12		第Ⅲ部 本格的な開発を始めよう	29	総合演習（ショッピングサイト構築） プログラミング		
	13	～					
	14	第Ⅳ部 応用的な知識を深めよう	50				
	15						
使 用 教 材			書 籍 名			出 版 社	
			主教材	スッキリわかるサーブレット&JSP 入門		インプレス	
			副教材				
実 習 環 境			Eclipse				
			Tomcat				
目 標 資 格			資 格 名			実 施 団 体	
成 績 評 価 方 法			・課題提出（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可	

科目番号：A-50281

科 目 名			時間数(90 分)			
セキュリティ応用			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	情報セキュリティ管理や情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）など情報セキュリティの実践的な知識や技術について、講義と過去問題を通して身に付ける。 なお、本科目は IT 企業でネットワークとセキュリティにかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	情報セキュリティ分野の高度な知識や技術を理解するとともに、企業のセキュリティ部署において活躍できる基礎力を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	情報セキュリティの重要性と機密管理		16		
	2	ISMS と情報セキュリティポリシー		17		
	3	リスク分析と評価		18		
	4	セキュリティ技術評価		19		
	5	情報セキュリティ技術		20		
	6	パスワード管理と認証技術		21		
	7	電子証明書と PKI		22		
	8	ソーシャルエンジニアリング		23		
	9	DoS 攻撃とマルウェア		24		
	10	技術的セキュリティ対策		25		
	11			26		
	12	アプリケーションセキュリティ		27		
	13	物理的・人的セキュリティ対策		28		
	14	まとめ		29		
	15	科目試験		30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	セキュリティ応用（学習ノート）		S C C		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-50290

科 目 名			時間数(90分)			
ビジネスマナーと文書技法			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	ビジネスマナーとeメールを含むビジネス文書について、講義とさまざまなケーススタディにおける接客対応の実例や確認問題を通して習得する。 なお、本科目はコンテンツ開発企業でコンテンツ制作とプロデュースに携わった実務経験を持つ講師が、その知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	基本的なビジネスルールを習得し、誤解や失礼のない定型的なビジネス文書が書けるようになることで、社会人として相応しい対応を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	コミュニケーション力とは				
	2	話すことと書くこと				
	3	効果的な話し方				
	4	敬語				
	5	職場のマナーと執務上のマナー				
	6	電話の受け方、掛け方				
	7	来客対応と席次				
	8	身だしなみ				
	9	効果的な書き方				
	10	電子メールの知識				
	11	電子メールの書き方、出し方				
	12	ビジネス文書の知識と構成				
	13	ビジネス文書の作成実践				
	14	まとめ				
	15	科目試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	入社1年目ビジネスマナーの教科書		プレジデント社		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験(100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-20841

科 目 名			時間数(90分)			
J a v a 演習			講 義	演 習	実 習	合 計
				50		50
科 目 概 要	企業のシステム開発やアプリ開発でニーズが高い J a v a について、講義・机上演習・実習を通して基本文法から Web アプリケーションにおける Java プログラミングの適用方法までを習得する。					
学 習 到 達 目 標	J a v a の基本文法や標準ライブラリを使用して、基礎的なアルゴリズムのプログラミングができる技術を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	Java とは - 利用シーン・歴史・実行環境 実習環境構築 - Eclipse		21 ～ 23	ストリーム入出力 - 例外処理 中間課題提出	
	2 3	基礎文法 - コメント・四則演算 デバッグ - エラーの対処方法		24 ～ 25	Web アプリケーションで活用される Java 技法 - 文字列処理 - 日付と時刻 - コレクションクラス 中間課題提出	
	4 5	データの記憶 - 変数・定数・型定義 - キャスト - 文字列操作		26 ～ 49	実習課題作成	
	6 ～ 8	分岐処理 - if else - switch - 論理演算		50	実習課題提出	
	9 ～ 12	繰り返し - while・for - 比較演算子 - break, continue				
	13 ～ 16	配列 - 固定長配列・二次元配列 - 拡張 for				
	17 ～ 21	メソッド - メソッド定義、呼び出し - インスタンス生成 - スコープ				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		スッキリわかる Java 入門		インプレス		
実 習 環 境	・JDK (Java SE 8 以降)					
	・CPad ・Eclipse					
	・Web ブラウザ (ヘルプ参照等で使用)					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：M-20851

科 目 名			時間数 (90 分)			
ネットワーク応用 1			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	ネットワーク構成の理論や設計方法について、講義を通して必要な知識と具体的手法を習得する。					
学 習 到 達 目 標	システムエンジニアやネットワークエンジニアに必要なネットワーク理論やネットワーク設計方法を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ネットワーク通信とプロトコル OSI 参照モデルとは		9	一般的なネットワークトポロジーの違い ネットワークの違い	
	2	基本的なネットワークの理論と概念 TCP/IP プロトコルスイート		10	適切なアドレッシング設定を行う (I P v 4、 I P v 6)	
	3	ワイヤレス接続ネットワーク イーサネット(有線接続)ネットワーク		11	適切なアドレッシング設定を行う (NAT/PAT、MAC アドレス、キャスト)	
	4	情報セキュリティポリシーと文書化 ネットワーク設備の安全対策 ネットワーク機器の設置と配線		12	基本的なルーティングの考え方とプロトコル (静的・動的ルーティング、ルーティングプロトコル)	
	5	さまざまなネットワークデバイスの機能と役割 ネットワークサービスとアプリケーションの利用		13	基本的なルーティングの考え方とプロトコル (ゲートウェイルーティング、高可用性)	
	6	ネットワークサービス ／アプリケーションの設置や設定		14	通信技術の基本要素 クラウドや仮想化をサポートするテクノロジー 基本的なネットワークの実装	
	7	さまざまな WAN テクノロジーの特徴とメリット		15	科目試験	
	8	さまざまなケーブルとコネクタ				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		ストーリーで学ぶ ネットワークの基本		インプレス		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	CompTIA Network+			CompTIA		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	ネットワークスペシャリスト試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：M-20861

科 目 名				時間数(90 分)			
データベース応用				講 義	演 習	実 習	合 計
				5	10		15
科 目 概 要	システム開発に欠かせない基盤技術となっているデータベースを操作するSQLについて、知識だけでなく実際に目的からSQLを構築できる能力を養う。						
学 習 到 達 目 標	基本情報/応用情報に出題されるSQLの問題が解けるようになる。SQLに習熟し、状況に応じて必要なSQLを作成できるようになる。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1	SQL基本の復習		16			
	2	演算、文字列の結合		17			
	3	集合関数		18			
	4	条件による絞り込み		19			
	5	グループ化		20			
	21						
	7	練習問題		22			
	8	並び替え、重複排除		23			
	9	表結合(複数テーブル) 外部結合		24			
	25						
	26						
	12	追加 (INSERT)、更新 (UPDATE)		27			
	13	削除 (DELETE)		28			
	14	練習問題		29			
	15	科目試験		30			
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社			
	主教材	スッキリわかる SQL 入門 ドリル 222 問付き!		インプレス			
	副教材						
実 習 環 境	クラウド実行環境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可			

科目番号：M-20871

科 目 名			時間数(90 分)			
Unity 応用			講 義	演 習	実 習	合 計
				50		50
科 目 概 要	Unity 基礎で学習した内容を応用し、より完成度の高いゲームを制作するための技術を習得する。 複数人で協力しながらゲーム開発を行い、スケジュールに沿ってチーム作業に関する知識と技術を習得する。					
学 習 到 達 目 標	指定したテーマに沿ったゲーム作品をチームメンバーと役割を分担しながら、協力して1つのゲームを完成させることができる。スケジュールに従って予実管理を行い、期日までにゲーム作品を完成させることができる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	科目の目的とスケジュールに関する説明、チーム編成		30	βバージョンレビュー	
	2～4	プランニング		31～35	レビュー結果の反映	
	5～7	企画書作成		36～38	αバージョン作成（ブラッシュアップ）	
	8～10	企画書レビュー（1回目）		39	αバージョンレビュー	
	11～12	レビュー結果の反映		40～41	レビュー結果の反映	
	13～15	企画書レビュー（2回目）		42～44	パブリックテスト（教室内試遊会）	
	16～17	レビュー結果の反映		45～47	バグフィックス・レベルバランス調整	
	18～20	プロトタイプ作成		48～49	提出物準備	
	21～22	プロトタイプレビュー		50	提出物のアーカイブと作品関連物の提出	
	23～29	βバージョン作成				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	配布資料				
実 習 環 境	Unity + Visual Studio					
	Adobe Photoshop CC / Illustrator CC					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出（100%）			＜評価基準＞ 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：A-50171

科 目 名			時間数(90 分)			
卒業研究			講 義	演 習	実 習	合 計
				120		120
科 目 概 要	実施テーマは新年度初頭に各講師から提示され、受講学生は希望に応じてテーマを 1 つ選択する。各テーマを選択した学生は、学科で得られた専門知識を活用し、指導講師の指導のもとで研究活動を行う。					
学 習 到 達 目 標	各学科の専門分野で習得した知識を駆使して、理解力、積極性、論理性、協働性、計画性、継続性などの能力を総合的に発揮する。研究成果物を完成させ卒業研究発表を通して、計画立案、実行能力、目標達成能力も合わせて身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-4	研究サブテーマ検討・選定				
	5-9	卒業研究環境構築				
	10-30	卒業研究開発				
	31-36	卒業研究レビュー1				
	37-66	卒業研究開発				
	67-72	卒業研究レビュー2				
	73-99	卒業研究開発				
	100-109	卒業研究発表の資料作成と推敲				
	110-120	個別研究の完成と発表				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各指導講師に委ねる				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	各ゼミで目標設定された資格 例：MOS、LPIC 等					
成 績 評 価 方 法	・ 課題提出 (75%) ・ プレゼン (25%)			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-20521

科 目 名				時間数(90分)			
総合情報処理 1-2（レベル 2）				講 義	演 習	実 習	合 計
				30			30
科 目 概 要	総合情報処理 1-1 レベル 2 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに準拠した知識を習得する。						
学 習 到 達 目 標	レベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1-2	サービスマネジメント／システム監査					
	3	システム戦略／システム企画					
	4-6	経営戦略マネジメント／技術戦略マネジメント／ビジネスインダストリ					
	7-12	企業活動／法務					
	13-15	模試 3					
	16-18	弱点補強 3					
	19-22	弱点補強 言語系					
	23-26	弱点補強 設計系					
	27-30	国家試験					
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
主教材		各コースで選定された対策テキスト					
副教材							
実 習 環 境							
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
	情報セキュリティマネジメント試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
成 績 評 価 方 法	・ 科目試験（100％）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可			

科目番号：A-20531

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 1-2 (レベル 3)			講 義	演 習	実 習	合 計
			30			30
科 目 概 要	総合情報処理 1-1 レベル 3 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-6	AM対策				
	7-13	PM対策				
	14-16	模擬試験 1				
	17-20	弱点補強 1				
	21-23	模擬試験 2				
	24-30	弱点補強 2				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-20541

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 1-2（レベル 4）			講 義	演 習	実 習	合 計
			30			30
科 目 概 要	総合情報処理 1-1 レベル 4 の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	AM対策				
	2-4	模擬試験 2				
	5-10	模擬試験 2 解説				
	11	AM対策				
	12-14	模擬試験 3				
	15-20	模擬試験 3 解説				
	21-27	弱点対策				
	28-30	国家試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科 目 名			時間数(90分)			
自主課題研究 1-2			講 義	演 習	実 習	合 計
				30		30
科 目 概 要	自主課題研究 1-1 の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学 習 到 達 目 標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-30	自主創作(学習)活動				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：A-20561

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 2 (レベル 2)			講 義	演 習	実 習	合 計
			75			75
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-5	ガイダンス、基礎理論		57-58	サービスマネジメントとシステム監査	
	6-15	アルゴリズムとプログラミング		59	システム戦略と企画	
	16-20	コンピュータ構成要素		60-61	戦略マネジメント	
	21-22	システム構成要素		62-66	企業活動と法務	
	23-26	ソフトウェア/ハードウェア		67-68	模試 3	
	27	ヒューマンインタフェース/マルチメディア		69-72	弱点補強 3	
	28-29	模試 1		73-75	国家試験	
	30	弱点補強 1				
	31-35	データベース				
	36-44	ネットワーク/セキュリティ				
	45-49	システム開発技術				
	50-51	模試 2				
	52	弱点補強 2				
	53-54	ソフトウェア開発管理技術				
	55-56	プロジェクトマネジメント				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		各コースで選定された対策テキスト				
副教材						
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-20571

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 2 (レベル 3)			講 義	演 習	実 習	合 計
			75			75
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス		68-70	模擬試験 3	
	2-4	コンピュータ科学基礎		71-72	弱点補強 3	
	5-7	コンピュータアーキテクチャ		73-75	国家試験	
	8-10	基本ソフトウェア				
	11-15	通信ネットワーク				
	16-20	データベース				
	21-25	ソフトウェア工学				
	26-30	システム構成技術				
	31-35	マネジメント				
	36-44	AM対策				
	45-53	PM対策				
	54-56	模擬試験 1				
	57-60	弱点補強 1				
	61-63	模擬試験 2				
	64-67	弱点補強 2				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀		
				89～80 点： 優		
			79～70 点： 良			
			69～60 点： 可			
			59 点以下： 不可			

科目番号：A-20581

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 2 (レベル 4)			講 義	演 習	実 習	合 計
			75			75
科 目 概 要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス		52-54	模擬試験 3	
	2-3	情報セキュリティ		55-60	模擬試験 3 解説	
	4	リスクマネジメント		61-72	弱点対策	
	5-12	主な侵入・攻撃方法と対策		73-75	国家試験	
	13-15	ネットワークセキュリティ				
	16-18	電子メール、Web アプリケーション				
	19-26	認証技術				
	27-30	情報セキュリティマネジメント				
	31	AM対策				
	32-34	模擬試験 1				
	35-40	模擬試験 1 解説				
	41	AM対策				
	42-44	模擬試験 2				
	45-50	模擬試験 2 解説				
	51	AM対策				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-20591

科 目 名			時間数(90 分)			
自主課題研究 2			講 義	演 習	実 習	合 計
				75		75
科 目 概 要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学 習 到 達 目 標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-3	学習テーマ設定				
	4-75	自主創作(学習)活動				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 1 (50%) ・課題提出 2 (50%)			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		